

2022年度

第2回 理事会 議事録

公益財団法人北海道サッカー協会

# 2022年度第2回理事会

## 議 事 録

1. 日 時 : 2022年5月21日(土) 16時30分から17時27分

2. 場 所 : 北海道フットボールセンター 3F 会議室 WEB会議  
札幌市豊平区水車町5丁目5-41

3. 出席状況 (敬称略)

- (1) 理事総数 30名
- (2) 理事定足数 16名
- (3) 理事出席総数 27名

(4) 出席理事(3名)  
吉田 一彦、越山 賢一、石井 肇

(5) WEB会議システムによる出席理事(24名)  
鷺津 裕美、中山 明彦、上田 充士、八島 隆志、荒 忍、佐賀 主昌、北原 次郎、  
大岩真由美、中川 綾子、荃津 都、今枝 映人、吉田 昌一、柴田 靖士、真保 温、  
山岸 健人、八城 雅彦、大橋 穰、安藤 亮一、岩田 薫、佐藤 裕幸、船田 清、  
奥村 英俊、中田 孝一、本山 哲司

(6) 欠席理事(3名)  
柳元 良文、小野寺隆彦、小島 実

(7) WEB会議による出席監事(3名)  
工藤 彰一、永浦 政司、吉川 賀恵

(8) 欠席監事 なし

(9) 理事会運営規則第3条による、オブザーバー出席(2名)  
館下 裕典根室FA副理事長、小林 徹也特任理事

記録: 安芸瑞穂事務総長

## 4. 議 事

<決議事項> 第1号議案 2021年度事業報告書承認の件  
第2号議案 2021年度貸借対照表・損益計算書(正味財産増減計算書)  
並びに附属明細書、財産目録承認の件  
第3号議案 2022年度定時評議員会開催の件

<報告事項> 第1号報告 2022年度国体スタッフ編成の件  
第2号報告 業務執行理事の業務執行状況報告の件



- ・処分案の詳細は、2020年度加盟団体緊急支援として取り崩した1,000万円の残金700万円を組織運営資金へ戻入する。700万円積立後の差額3,200万円を案分し、1,600万円を組織基盤整備事業（加盟団体支援）として積立、残りの1,600万円を組織運営資金（今後の事業等の財源）として積立したいと考えている。

2) 様式1 貸借対照表

	前年度	当年度
・資産合計	359,662,258円	382,093,252円
・負債合計	62,865,455円	50,358,894円
・正味財産合計	296,796,803円	331,734,358円
・負債正味財産合計	359,662,258円	382,093,252円

3) 様式2 正味財産増減計算書

	前年度	当年度	増減
・経常収益計	260,777,689円	318,266,492円	57,488,803円
・経常費用計	261,143,060円	319,086,837円	57,943,777円
・当期経常増減額	-365,371円	-820,345円	-454,974円
・当期指定正味財産増減額	-10,000,000円	36,000,000円	46,000,000円
・正味財産期末残高	296,792,827円	331,734,358円	34,941,531円

4) 様式3 財務諸表に対する注記

	当期増加額	当期減少額	当期末残高
・基本財産及び特定資産合計	39,170,000円	7,065,680円	182,276,228円

（当期末残高は、前年度末残高から約3,200万円増額した。）

5) 指定正味財産積立

- ・組織基盤整備事業資金について、1,600万円積み立てることにより、事業実績予定年度（取崩）が2037年度まで6年延長となる。
- ・組織運営資金について、昨年度取崩分戻入700万円と1,600万円、合計2,300万円を積み立てることにより、今後の組織運営資金が増額となり、緊急時に取崩可能な自己資金を備えることとなる。

6) 収支相償判定計算

- ・収益から指定正味財産へ3,900万の積立を実施後、二段階の公益事業会計全体の収支相償判定を行ったところ、-449,697円となり、0円以下のため、収支相償を満たしている決算となる。

7) 監査報告・・・永浦監事

- ・2022年5月14日（土）に行われた監査結果について報告された。
- ・会計処理及び業務執行についての状況を調査した結果、適正に会計処理されており、業務執行についても適正に行われている旨の報告があった。

説明の後、出席理事より質疑なく、賛否を諮ったところ、理事全員の賛成を得て原案のとおり可決した。

第3号議案 2022年度定時評議員会開催の件・・・石井専務理事  
議案書に基づき説明を行った。  
下記の通り、定時評議員会を開催する。

開催日時：2022年6月25日(土) 13時00分～15時00分(予定)  
会 場：北海道フットボールセンター3F 会議室(WE B会議で実施)  
議 題：(1)決議事項

- 第1号議案 2021年度貸借対照表・損益計算書(正味財産増減計算書)並びに附属明細書、財産目録承認の件
  - 第2号議案 2022-2023年度理事選任の件
  - 第3号議案 2022-2024年度評議員選任の件
  - 第4号議案 評議員及び役員候補者推薦委員会委員選任の件
- (2)報告事項
- 第1号報告 2021年度事業報告の件
  - 第2号報告 業務執行理事の業務執行状況報告の件
  - 第3号報告 2022年度事業計画・予算の件
  - 第4号報告 2022年度5ブロック圏及び、地区/連盟支援交付金の件

説明の後、出席理事より質疑なく、賛否を諮ったところ、理事全員の賛成を得て原案のとおり可決した。

#### (4) 報告事項

- 第1号報告 2022年度国体スタッフ編成の件・・・石井専務理事  
資料に基づき、2022年10月1日(土)より開催される「第77回国民体育大会(栃木県)」へ派遣する北海道代表チームのスタッフについて説明を行った。

##### 成年男子

代表/監督	結城 慎悟	ノルブリッツ北海道FC/47歳/B級・GKL2
コーチ/主務	木島 敦	星槎道都大学サッカー部/51歳/A級G
コーチ/主務	倉谷 悠太	ノルブリッツ北海道FC/39歳
主 務	遠藤 颯士	北海道教育大学岩見沢校サッカー部/21歳/C級
トレーナー	鈴木 航平	BTOP サンクくりやま/27歳

##### 少年女子

監 督	藤代 隆介	北海道FA コーチ/48歳/S級
コーチ	松田 哉	JFA コーチ/55歳/A級G
コーチ	三澤 絢子	北海道大谷室蘭高等学校女子サッカー部/29歳/B級
コーチ/主務	坂本 葵	旭川実業高等学校女子サッカー部/28歳/C級
トレーナー	山内 隆裕	指導チームなし/35歳

##### 成年女子

2022.23年度の本大会はなく、年間を通じてチーム強化活動を実施する。  
責任者：石井専務理事

##### 少年男子

派遣チームが決まり次第提案させていただく。

報告の後、下記の質疑・意見等があった。

#### (真保理事)

少年女子について、藤代北海道FA コーチは北海道協会の技術全体を、松田 JFA コーチは北海道の女子全体を統括される方だと思いうため違和感がある。例えば、高校の監督やU-18の技術

委員長、あるいはU-15のチーム等で監督を務められている方のほうが現場も知っており、チーム作りもされているので、適任なのではないかと思う。

(上田副会長)

真保理事が仰っていることも一理ある。しかし、職場の都合やリーグ戦等の日程的に、都合が合わないという方が多い。JFA側の理解も得ながら進めており、課題の発信や、様々な部分のフィードバックをするのに最適な人物であると考えている。

また、今回は最初の少年女子の国体ということで、今後へ向けても組織をしっかりと作り、トレセンの流れを作っていくためにもこのような形で決めさせていただいたのでご理解いただきたい。

(真保理事)

趣旨は理解した。チームの方から厳しい時期なので引き受けられないという話があったということは、何件か打診はされたということか。

(上田副会長)

チームの責任者である監督は、今までもほとんど派遣は難しい状況となっている。

(真保理事)

趣旨については理解した。

## 第2号報告 業務執行理事の業務執行状況報告の件・・・石井専務理事

資料に基づき、2022年4月5日から2022年5月20日までの業務執行状況を説明した。

報告の後、出席理事より質疑・意見等がなく、これを了承した。

## (5) その他

### 1) 報告 2022.23年度 業務執行理事に関する件・・・吉田会長

業務執行理事として、従来通り、会長及び専務理事がこれを担っていただく。3名必要なため、副会長候補としての船田氏が、6月の定時評議員会をもってご就任いただくことになれば、業務執行理事として携わっていただくよう、評議員会へお願いする考えである。

審議及び報告がすべて終わった後、出席理事に発言を求めたところ、下記の意見があった。

(真保理事)

これまでは、業務執行理事の副会長には手当がなかった。次の新しい業務執行理事となった際には、これまでと同様の業務形態であれば、ぜひ業務執行理事の副会長にも相応の手当をしていただきたい。また、事務局についても見合った給与となっているか、優秀な人材を逃すことのないよう考えていってほしい。

(吉田会長)

大変ありがたいコメントである。働き方改革や給与面での待遇の改善を図っていく必要があると考えている。重要な引き継ぎ事項として、次の会長へお願いしようと思っている。

(大岩理事)

大半の方は、本来の仕事の後にサッカーの仕事をしている。そういう方たちがいてサッカー界が成り立っているということを忘れずに、我々は活動していかなければならない。

(吉田会長)

その通りである。皆さまが自己犠牲の上でサッカーファミリーを支えてくださっているということをいつも自覚している。

以上、議長は議事が全て終了した旨を告げ、17時27分に閉会を宣言した。

尚、WEB会議システムは終始異状なく作動した。

この議事録が正確であることを証するため、会長、監事は記名し押印する。

2022年5月21日

公益財団法人北海道サッカー協会 2022年度 第2回理事会

会 長 吉 田 一 彦 印

監 事 工 藤 彰 一 印

監 事 永 浦 政 司 印

監 事 吉 川 賀 恵 印